



新富小だより

令和7年
7月23日発行

《本年度の重点教育目標》

認め合い 支え合い 学び合う子どもの育成

No.4

～認め合い 支え合い 学び合う活動を通して 仲間との関係を深め 子どもたちの人間性を高める～

一つ一つの活動を着実に終えて

旭川市立新富小学校

校長 工 藤 真

校舎裏の学級園に植えられている各学級の植物が青々とした葉を大きく広げ育っています。小さな苗や種から植え、1学期間、一生懸命お世話をした成果です。実りの秋にはたくさんの収穫ができることでしょう。それはあたかも個性豊かな新富っ子の一人一人の成長を表しているかのようです。私たち教職員は、植物のように子供たち一人一人がすくすくと育ち、立派な実を付けてほしいと願っていますし、そうすることが学校の使命と考えています。

さて、早いもので、今日で1学期が終了します。4月に1学期がスタートしてから、あっという間の4か月。運動会を中心に宿泊学習や修学旅行など、多くの行事を経て子供たちの成長を促し、心も体も大きく成長してきました。ともすると毎日見ている子供たちの変化に気付きにくいこともあるかと思います。しかし、4月と7月の子供の写真があれば、見比べてみてください。少しずつ変化していることが分かるかと思います。同時に見えない心の成長がそこにあると思います。学校は2学期以降も、時代のニーズに応じた教育活動の展開を目指していきます。

さて、昨今、よく聞くようになった言葉で「ウェルビーイング」という言葉があります。皆さんはご存知でしょうか？調べてみると「ウェルビーイング」とは、

○身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むもの。

○多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取りまく場や地域社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む。

と定義されています。

では、教育の場でのウェルビーイングとは何でしょうか？それは、子供たちが感じる次のことです。

①幸福感 ②学校や地域でのつながり ③協働性 ④利他性 ⑤多様性への理解⑥サポートを受けられる環境 ⑦社会的貢献意識 ⑧自己安定性 ⑨自己実現【達成感、キャリア意識など】 ⑩心身の健康 ⑪安全・安心な環境などです。新しく出てきた言葉に「えっ、またなんか難しいことが出てきたの？」と思いがちですが、実はどれも昔から大切にされ、学校の中では意識されてきており、今回、新たに「ウェルビーイング」という言葉に集約されただけのことです。

これまでの私たちは、集団の中の一人として考えられることが多く、これは古来から人々の生活の中にあつた考えです。しかし、昨今は「多様性の時代」のような言葉で表されるほど、一人ひとりの個性やニーズに応じたパーソナライズされた社会へと変容しました。

このこと受けてのウェルビーイングの最終的な目標は「個々の幸福の追求」です。

私たちは日々の教育の場において、自然とこれらを意識して指導をしています。また、これを意識していかなければ、学校の存在理由もなくなる気がします。そのための、日常の授業であり、行事への取組であり、体験的活動の推進であると考えます。

新富小学校は、これまで同様、保護者や地域の皆さんのお力をお借りして、「新富小こそウェルビーイングの実践校」だといえるような教育活動を展開していきたいと考えます。そのために、私たちは子供たちのために一つ一つの活動を着実にやり、子供たち一人一人の資質・能力の向上を目指していきます。

明日から、楽しい夏休みです。事故や怪我、病気などせず、また、8月26日には、少し成長した元気な子供たちと再会したいと思います。Have a nice summer vacation!



成長の機会となった宿泊研修

7月1日・2日の日程で、宿泊研修を実施しました。1日目は、北海道地図株式会社でのモーションキャプチャー見学や3Dコンテンツ体験、製図体験等に始まり、砂川B&G海洋センターに移動後は、自然の中で行うカヌー・ローボート体験を楽しみました。ネイパル深川へ入所後は、クライミングとフロアーカーリング、ボッチャ等のスポーツレクで汗を流しました。2日目は、木製キーホルダーの制作や屋外でのモルック体験までは順調に進みましたが、現地の天候を考慮してウォークラリーをプール学習に変更して行いました。

このように充実したプログラムをこなした5年生62名は、2日間で家族と離れる心細さがあったこととは思いますが、さまざまな活動を通じて、仲間と協力するよさを実感することができたようです。

心に残る大切な思い出と多くの学びを得たこの宿泊研修が、5年生の子供たちにとってたくましい成長を遂げる機会となったことは間違いありません。この成長を今後の生活に生かしてほしいものです。



個人懇談ありがとうございました

7日～18日の日程で、個人懇談を実施しました。

短時間ではありましたが、保護者の皆様と顔を合わせ、お子様の学校での様子と家庭での様子を相互に話し合うことができ、有意義な情報交流の場となりました。

共有させていただいた情報につきましては、今後の指導にしっかり役立ててまいります。

ご多用の中、ご来校いただきまして、ありがとうございました。



8月の主な行事予定

- 12日(火) 学校閉庁日【～15日(金)まで】
- 15日(金) 諸費引落日
- 26日(火) 2学期始業式【4時間授業給食なし】
安全点検日
- 27日(水) 委員会 クリーン運動
夏休みチャレンジ展(～9/5)
- 28日(木) 図書貸出開始
- 29日(金) ミュージカル鑑賞(6年)
朝の街頭指導 フツ化物洗口
いじめ防止対策会議



いじめ根絶に何けた取組

現在、1階廊下の天井には、フレンドロードと称して、子供たち一人一人が友達のために書いた心温まるメッセージカードが吊るされています。この取組は、「友達にしてもらって嬉しかったことや友達のよいところをカードに書き、感謝の気持ちを伝える」という生活委員会の企画によるものです。

全学年の児童を対象としたこの取組は、「新富小学校いじめ防止プログラム」にも位置付けられており、子供たちのよりよい成長や自他のよさへの気付き、互いを尊重し合う心情を育てることにもつながっています。

フレンド週間の取組を終えても、友達に対する優しさや思いやりの心が新富っ子に着



実に育っていくように、これからも「豊かな心」を育てる取組を推進してまいります。

7日、5・6年生の児童を対象に、いじめに関する意識啓発を行うため、チャットいじめ相談を実施するスタンドバイ株式会社の講師の方による「いじめに関する出前授業」が行われました。

会場となった体育館では映像資料を活用しながら、「いじめといじり」をテーマにした学習が展開されました。活発な意見交流を通して、子供たち自身がいじめの傍観者とならないよう、意識を高めていました。



学校閉庁日のお知らせ

旭川市教育委員会では、市内小中学校の夏休み中(8月12日(火)～15日(金)の4日間)に学校閉庁日を設定しています。この期間の緊急時は、**旭川市教育委員会 学校教育部 教職員課(Tel 25-9116)**、または緊急連絡メールにてご連絡ください。(緊急時とは・・・事件・事故の発生、病気・怪我での入院等、急遽連絡を必要とする場合を指します。)

アドレス:kinkyu@shintomi.els.asahikawa-hkd.ed.jp

ご連絡いただいた内容に応じて、学校の管理職又は担任等より、折り返しご連絡させていただくことがありますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

